



家「よってかまい」が新装開店 家庭の味や地場産品を販売

新野地区のNPO法人「よってかまい」が運営している食料品販売店が5月1日、区内にある(株)西島土木の旧会社事務所に移転しリニューアルオープンしました。同店舗では、団体の主婦が手作りした惣菜や弁当、ダイコンや米、かんきつ類といった地場産品のほか、生活雑貨や駄菓子も販売されています。また、地域交流や同地区の観光案内の拠点としての機能も併せ持ちます。



掃海艇えのしまが市へ寄港 大勢の見物客でにぎわう

神奈川県横須賀近海を警備している機雷の掃海艇「えのしま」が5月3日から2日間、御前崎港に寄港しました。今回の寄港は、港のにぎわいを創出するために市が誘致し実現したものです。当日は入港歓迎行事が執り行われたほか、船内の一般公開も催されました。また、陸上自衛隊や海上自衛隊の装備品を含む広報展示コーナーなども開設され、来場者は2日間で約2500人にも上りました。

安全な火の使い方学ぼう 大きな声で「火の用心」

幼年消防クラブの結成式が5月7日、さくらこども園の年長園児44人を対象に実施されました。この取り組みは、正しい火の使い方や消防署の仕事を知ってもらい、火遊びなどによる火災の減少を目的に実施されています。

松下貴幸消防長が「火は扱い方を間違えると危ないので気をつけましょう」と呼びかると、園児は「火遊びは絶対にしません」と元気よく約束しました。



浜中 中生につゆひかりを託す 京都・奈良で御前崎市を発信して

市と茶業振興協議会は5月7日、浜岡中学校で「つゆひかり贈呈式」を開き、同校の3年生170人に御前崎茶「つゆひかり」を手渡しました。生徒は、8～10日にかけて京都と奈良へ修学旅行に出掛け、現地で御前崎市の観光ガイドや御前崎茶「つゆひかり」を配布して郷土の魅力発信に努めました。生徒会長の鈴木颯太さん(大山)は、「明るく元気良く御前崎市をPRしたい」と話しました。